

児童室だより No. 79(2012.4発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p>『のら犬ホットドッグ大かつやく』</p> <p>シャーロット・ブレイ作 オスターグレン晴子訳 徳間書店 2011.11 【小低～小中】</p>	<p>シッセは小学生の女の子。学校帰りにいつも見かける犬に、お弁当の残りをあげることが最近の楽しみ。シッセは、その胴長の犬を「ホットドッグ」と呼んでいます。ホットドッグがシッセの家までついてきてしまった日、シッセは両親を説得して、飼い主が見つかるまで家で飼うことになりました。庭を荒らしたり家出したり、やりたい放題のホットドッグでしたが、ある日、どろぼうがスーパーから盗んだお金を発見して…。</p> <p>(J949-7レ-1110293134)</p>
<p>『11号室のひみつ』</p> <p>ヘザー・ダイヤー作 ピーター・ベイリー絵 相良倫子訳 小峰書店 2011.12 【小中】</p>	<p>トビーは、赤ちゃんの頃、ホテルの空き部屋で発見されて以来、ホテルに住みこんで働いています。ある嵐の日、洗濯物が飛ばされてしまい、棧橋の下まで捜しに行ったトビーは、人魚の女の子と出会います。その子はトビーを家へと案内し、人魚の親子はトビーをあたたかく迎え入れてくれました。お土産に黄金の指輪をもらったトビーでしたが、ホテルのオーナーに見つかり、ホテルのそばの砂浜は宝探しをする人で大騒ぎ。人魚の親子が見つかったら大変です。</p> <p>(J933-タイ-1110305600)</p>
<p>『放射線になんか、まけないぞ!』</p> <p>坂内智之文 木村真三監修 太郎次郎社エディタス 2012.1 【小中～小高】</p>	<p>東京電力福島第一原子力発電所で事故がおこって、たくさんの放射性物質が日本中にふりそそぎました。それはとても怖いものだと言われているけれど、放射性物質って、いったいなんだろう？何に気をつければいいの？これからどうすればいいの？日々の注意点、放射線の基礎知識、除染の進め方など、イラストを交えてやさしく説明しています。大人と子どもと一緒に学べる放射線の入門書。</p> <p>(J539-ハン-1110315812)</p>
<p>『心の森』</p> <p>小手鞠るい作 金の星社 2011.12 【小高】</p>	<p>お父さんの転勤で、アメリカに引っ越してきた響（ひびき）。夏休み中で、友だちもいない響は、町外れの古い軒屋で一日を過ごしていました。ある日、裏庭から続く森の中で女の子に出会いました。名前は、その子がさだめた花からデイジーだとわかりましたが、話すことができない様子。それでも何度か遊ぶうち、気持ちを通い合わせることができました。新学期になり、響は学校に通い出しますが、デイジーの姿は見えません。</p> <p>(J913-コテ-1110305450)</p>
<p>『鉄道きょうだい』</p> <p>E.ネズビット著 中村妙子訳 教文館 2011.12 【小高】</p>	<p>姉のポビー、弟のピーター、妹のフィリスの3人は、ロンドン郊外で両親と幸せに暮らしていました。しかし、ある日お父さんが2人の訪問者と出かけたまま戻らず、お母さんときょうだいは田舎に引っ越すことになりました。コックやメイドもない貧乏生活。そんなきょうだいの楽しみは、近くを通る鉄道を見ることでした。鉄道がらみのいろいろな騒動を通して、周りの人たちとの関係をきずいてゆきます。</p> <p>(J933-ネズ-1110305496)</p>
<p>『自閉症のある子と友だちになるには 当事者だからわかるつきあい方イラストブック』</p> <p>ダニエル・ステファンスキー著 石井哲夫監修 晶文社 2011.11 【小高】</p>	<p>自閉症のある子は、人と気持ちを伝え合うことが苦手だったり、人づきあいの場の空気がよく理解できなかったりします。自閉症のある子には、どんなふうに話しかければいいのかな？自閉症のある14歳の著者が、自身の体験を交えながら自閉症という障害について語っています。自閉症のある子との遊び方、接し方がわかりやすく書いてあります。</p> <p>(J378-ステ-1110297231)</p>

本の情報	内容
<p>『エメラルド・アトラス 最古の魔術書』</p> <p>ジョン・ステューブンス著 片岡しのぶ訳 あすなる書房 2011.12 【小高～YA】</p>	<p>クリスマス・イブの夜、両親から引き離され、孤児院へかくまわれたケイト、マイケル、エマの3人兄弟。その10年後、孤児院をたらい回しにされてたどり着いた所は、ケンブリッジホールという場所に立てられた孤児院でした。そこで3人は、エメラルド色の表紙をした白紙の本を見つけました。偶然、本の上に写真をおいて、写真に写されていた時代にタイムスリップした3人。彼らを待っていたのは、村人たちを虐げる魔女とスクリーチャーと呼ばれる動く死体たちでした。</p> <p>(J933-ステ- 1110305487)</p>
<p>『パパのメールはラブレター!?!』</p> <p>メアリー・アマート作 尾高薫訳 徳間書店 2011.12 【小高～YA】</p>	<p>フランキーは、12歳の女の子。ママを亡くし、パパと2人の弟と4人暮らし。家族共有のパソコンでパパ宛のメールを見てしまったフランキーは、パパが恋をしているのを知り、気絶しそうなぐらいショックをうけます。メールの相手は、動物園でハダカデバネズミの飼育員をしているアヤーナ。パパが再婚するなんて絶対イヤとあせったフランキーは、アヤーナがあきらめるように嘘のメールを送ります。</p> <p>(J933-アマ- 1110311724)</p>